

ライオン学校伝書鳩通信

～雨の中のライオン学校～



(H24.7.6～7)

闘うという選択

今回の支援の目的のひとつは、5月の支援の際に学校でいじめられていることがわかった女の子に会うことでした。この子はある課題を抱えていて、それが原因でいじめられています。そこで私たちは、彼女がその課題と向き合うためのある計画を考えました。しかしこの計画は、そもそも女の子自身にその課題と向き合う気持ちがなければ実行できません。そこで、その女の子が自身の課題を乗り越えたいという意志を持っているのかを今回の支援の中で確認することにしました。その答えが YES ならば、計画を実行することになります。私たちも彼女と一緒に課題に立ち向かう大きな覚悟をして今回の支援に挑みました。しかし、他の質問に対してはすらすらと答えるのに、「(この子の課題を)ちゃんとできるようになりたいか」この質問に対してはどうしても答えることができません。まるで自分に向かってくる悪口をやり過ぎしているときのように、この質問もやり過ぎそうとしているように見えました。この女の子は学校でも家庭でも一番下に位置付けられており、長い間その状況の中で生きてきたので、そのことで苦しい思いをすることがあっても、いじめられるという位置を自分の居場所として確立しているようです。私たちの質問に YES と答えることは自分の安定した居場所から出て、家や学校の人間と闘っていくということにつながります。誰にとっても「闘う」ということはきついことですが、今まで「闘い」を放棄することで自分を守ってきたその女の子には、より一層きついことなのだと感じました。また、いくら私たちが女の子のことを思ってこの質問を投げかけても、彼女はそれを「自分への攻撃のひとつ」としか捉えられていません。自分にとって「きつい」と感じるものに出会ったら、彼女はすぐに自分の殻にこもってしまいます。最終的には苦し紛れの YES という答えを聞くことができましたが、これから一緒に課題に向き合っていく中で、どうかして殻の外で彼女の話を知りたいです。

雨に備えて

梅雨真っ最中の支援。今回の日程も朝から雨という予報が出ていたので「外遊びはできないだろうな」と思った私たちは、雨に備えて「中遊び」をいくつか考えて支援に挑みました。しかし一生懸命考えたはずの中遊びはあまり盛り上がりず、二つ目の遊びを出す前に中遊びは打ち切りにして自由時間にしました。すると子どもたちは雨の中、勢いよく外に飛び出して行って「鬼ごっこ」を始めました。雨が強くなろうとも、水たまりで転ぼうとも、気にすることなく鬼ごっこは続きます。もちろん「鬼」である支援者もびしょ濡れです。



ライオン学校では「雨の日は中で過ごす」という考えは通用しないようです。もし次回の支援の時も雨の予報が出ていたら、雨に備えて、外で遊べるようにしっかり準備していきます。

仮設住宅での生活

今回は1日目の夕方に大学生2人が万石浦に入って一泊し、次の日の朝に他のメンバーが合流するという日程で支援を行いました。3月までは毎回、仮設の集会所に宿泊していましたが、今回は3か月ぶりにそこで一夜を過ごしました。少し風が吹いただけでミシミシと音がし、雨が降り始めるとトタン屋根が大きな音を立てます。今までは10人以上の大人で宿泊していたのでこれくらいの音は何とも思わなかったのですが、2人だけで泊まってみると、少し軋んだだけで「地震なのではないか」とドキッと、夜から降り出した激しい雨の音を聞いて「このまま冠水してしまって水浸しになるのではないか」とも思いました。仮設の不気味な雰囲気で2人ともなかなか寝付けず、夜中に何度も目を覚まして次の日の朝を迎えました。ライオン学校にやってくる子どもたちの中では3つの家庭が仮設で暮らしています。今はもう慣れているかもしれませんが、小さな子どもたちは仮設での暮らしの中でもっと不安な気持ちを経験したかもしれません。仮設の入居期限は2年から3年に延長され、復興住宅の建設状況からすると、再延長される可能性が高いと言われていきます。次の住まいを確保するまでの時間とだけ考えると短いと感じますが、仮設での生活を想像してみると、この年月は決して短いとは言えないということがわかりました。ライオン学校のメンバーで現在仮設に暮らしているある女の子の家庭では、借金をして新しい家を建てることを決めたそうです。一方、仮設で暮らす別の子の家庭では、1年以上たった今でも、津波で崩れた以前の家が片づけられないまま残っています。そのお宅では次の住まいの見通しが立っているのかどうかはわかりません。今回の支援では、落ち着いた新しい住まいの必要性と、被災した人がそれを手に入れることの難しさも感じました。

寄付を頂いた方(6月18日～7月6日)敬称略

柿本隆夫、小林酉子、山田哲也

支援メンバー 甘利悠貴、今井美里、大林沙紀(東京理科大学学生)、柿本隆夫(下福田中学校)、藤原弘輝(光明学園相模原高等学校)

!!! 寄付のお願い !!! 継続的な支援のために、お願い致します。寄付を頂きました際には、お手数ですが右下記連絡先までご一報お願いします。

ゆうちょ銀行

店名:〇五八店(ゼロゴハチ店) 店番:058

番号:普通 3385189

ライオン学校(ライオンガッコウ)

※ゆうちょ銀行からの振込の場合

記号:10510 番号:33851891

グループ名:ライオン学校

連絡先:〒270-0101 千葉県流山市東深井 33-4

Ridai 古谷メゾン 201 号室

TEL: 080-6554-8762(代表:今井)

Email: info.lionschool@gmail.com